



津久見市で、実サンショウの出荷が始まりました。

2021年5月9日付
大分合同新聞 7面

「津久見山椒」出荷始まる



「たくさん実った」とサンショウを摘み取る内田香代子さん＝津久見市津久見

実びっしり
独特の香り

【津久見】津久見市で実サンショウの出荷が7日、始まった。「津久見山椒」の名称で京都市や北九州市などの市場に送る。

津久見市津久見にある広さ10畝の畑では、内田香代子さん(89)が収穫作業に励んでいた。120本の本木は直径約5ミリの緑色の実がびっしり。手で摘み取ると独特の香りが広がった。「栽培して6年目。3月から暖かい日が多く、一番多く実った

と話した。

市によると、市内でサンショウ栽培は2009年から始まった。現在、18戸が約3千本を育てている。ミカン科の植物で管理方法が特産のミカンと似ているという。

収穫は5月末まで。今季の出荷量は昨年より28キ多い350キを見込んでいる。ふるさと納税の返礼品として人気で、市内のJA直売所でも販売する。

① 津久見市の実サンショウは、どこに出荷・販売されますか。

.....

.....

② 写真の内田さんは栽培して6年目になりますが、今年は「一番多く実った」と話しています。その理由について、内田さんはどう説明していますか。

.....

.....

③ サンショウは (A) 科の植物で、津久見市の特産 (A) と管理方法が似ているということです。(A) に入る言葉を書いてください。

.....

④ サンショウは香辛料として利用されます。どんな味がしますか。また、どんな料理に使われるか調べてみましょう。

.....

.....